



平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 アイコム 株 式 会 社
 代表者氏名 代表取締役社長 播磨正隆
 (コード番号 6820 東証一部)
 問合せ先 経営管理部長 植畑敬一
 (TEL 06-6793-5301)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 12 日に公表した平成 30 年 3 月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	26,280	1,580	1,490	1,140	76 円 93 銭
今回修正予想(B)	25,000	530	660	520	35 円 09 銭
増減額(B-A)	△1,280	△1,050	△830	△620	
増減率	△4.9%	△66.5%	△55.7%	△54.4%	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	24,092	732	724	473	31 円 98 銭

修正の理由

売上高につきましては、日本市場では、LTE 回線を使用した IP 無線機など陸上業務用無線通信機器は堅調に推移しており、アマチュア用無線通信機器も、新製品が寄与して概ね想定通りの推移となっておりますが、海外市場において、米国公共市場における受注案件の回復が緩慢であることや海外向けアマチュア用無線通信機器の新製品の投入時期の遅れ、アジア地域での不振などの要因により、第 2 四半期連結累計期間での進捗が大きく想定を下回っており、第 3 四半期以降では、日本市場で好評なアマチュア用無線通信機器の新製品や IP 無線機の海外市場への投入開始、国内外の公共市場に動きが出てきたことなど状況は改善されていくものと見ておりますが、当初の想定を下回る見込みです。

利益面では、売上高減少に加え、第 2 四半期累計期間から続く為替の円安による海外子会社の販売費及び一般管理費の換算増、第 3 四半期以降においては、販売単価の下落や、海外子会社における人件費や広告宣伝費の増加など販売費及び一般管理費の増加により前回公表予想を下回る見込みです。

(注)上記の業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上